

生駒市長の小紫雅史(こむらさきまさし)です。

早いもので、生駒市長としての任期4年間の最終年度を迎えます。

就任以来、一番力を入れてきた「市民との協働」。

生駒市と生駒市民は、「ひと」の部分で、どの自治体にも負けない街となりつつあります。

最終年度は、「市民との協働」に加え、未来への投資に全力を尽くします。生駒市が、少子高齢化・人口減少の厳しい社会の中でも、しっかりと発展し続ける種をまく一年とします。

全力で頑張ります！

こむらさき雅史



生駒市の先進的な取組に、 全国の自治体・メディアが大注目！

▶▶ まちづくりの副業を支援する制度



市民とともに汗をかいて街づくりをする職員を応援するため、「まちづくり副業支援制度」を全国に先駆けて開始し、働き方改革の先進事例として注目を集めています。すでに4名の職員が生駒市内のサッカーのコーチや命の大切さを教えるNPOなどで活躍しています。

▶▶ 市の職員採用改革



今年度も素敵な採用ポスターができあがり、NHKの全国放送でも取り上げられました。その結果、空前の「売り手市場」といわれるなか、昨年度を上回る958人の応募がありました。



おもしろい！と全国的に話題になったポスター

▶▶ 自治体電力会社「いこま市民パワー」



市外に流出する電力料金の一部を市内で循環させて経済活性化につなげるとともに、収益を生駒市の課題解決に充てることを目的とした電力会社「いこま市民パワー」を設立しました。初年度からさっそく約200万円の収益があり、子育てや福祉、環境問題への対応に活用予定です。

▶▶ 受動喫煙防止の新たな取り組み



生駒市では、6月1日より、市内の人通りが多いエリア(生駒駅周辺)を指定し、歩きタバコ等に対する規制を強化します(注意や勧告により改善されない場合最大2万円の過料)。それに合わせて、職員も禁煙マナーを向上させるため、市役所での勤務時間中の喫煙を禁止しました。また、市民や職員からの要望を踏まえ、喫煙後45分間はエレベーターを使わず、階段で移動することとしています。メディアに大きく取り上げていただき、受動喫煙防止の取組について大きな議論となっています。

▶▶ FCバルセロナ・サッカースクール開校！



世界最高峰のサッカーのクラブチーム、FCバルセロナ。メッシやイニエスタ(日本に移籍?)、スアレスといったスター選手を抱える名門です。そのサッカースクールが関西で初めて、HOS生駒北スポーツセンターに開校しました。未来の日本代表がこのスクールから生まれることを期待しています。

こむらさき雅史プロフィール

- 1974年 兵庫県生まれ 44歳
妻と子ども3人 子育て奮闘中
一橋大学法学部卒
- 1997年 環境庁(現・環境省)に入庁
- 2002年 シラキュース大学(米国)行政大学院に留学
- 2007年 在米日本国大使館(ワシントンD.C.)に勤務
- 2012年 生駒市副市長に就任
- 2015年 生駒市長に就任



春の
市政報告会
開催

平成30年
6月2日(土)
AM 9:30~11:00

南コミュニティセンター
せせらぎホール

南生駒駅から徒歩3分。駐車場が少ないためできるだけ公共交通機関をお使いください。

9:15 受付開始

